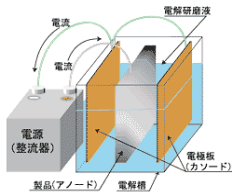




ブースNO. <b>63</b>	提案名 <b>「クリーン化加工技術による金属表面の理想品質実現」</b>	工法 研磨・洗浄 他
---------------------	---	---------------

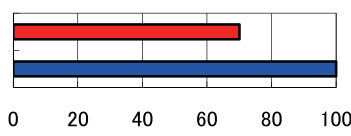
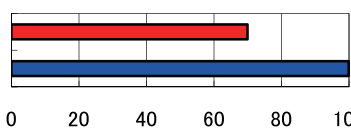
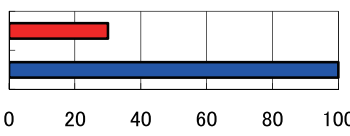
会社名 <b>マルイ鍍金工業株式会社 東北工場</b>	所在地 青森県八戸市大字河原木字遠山新田5-2
海外生産拠点国 国名：韓国 (無)	認証取得 JIS H8641 溶融亜鉛めっき
海外進出計画 国名： (無)	主要取引先 アルバック東北㈱、東北三吉工業㈱
輸出実績・計画 国名：韓国、中国、台湾 他 (無)	

提案のねらい <ul style="list-style-type: none"> <li>耐蝕性、清浄性の向上</li> <li>表面の平滑化、鏡面化</li> <li>表面の非付着性の向上</li> </ul> <table border="1"> <tr><td>コスト</td><td></td></tr> <tr><td>新規性</td><td></td></tr> <tr><td>機能</td><td>◎</td></tr> <tr><td>製品への波及効果</td><td>◎</td></tr> <tr><td>環境配慮</td><td>○</td></tr> </table>	コスト		新規性		機能	◎	製品への波及効果	◎	環境配慮	○	適用製品・応用分野 <ul style="list-style-type: none"> <li>各種ステンレス製機器</li> <li>工場内ステンレス配管</li> <li>その他 ステンレス鋼またはアルミニウム製の各種設備</li> </ul>	開発進度 <table border="1"> <tr> <td>アイデア段階</td> <td>試作実験</td> <td>開発完了</td> <td>製品化完了</td> </tr> </table>	アイデア段階	試作実験	開発完了	製品化完了
	コスト															
新規性																
機能	◎															
製品への波及効果	◎															
環境配慮	○															
アイデア段階	試作実験	開発完了	製品化完了													

### 技術内容

電解研磨処理	不動態化処理
<p>～電気化学反応により表面をミクロン単位で研磨する方法～</p> <p><b>○方法</b></p>  <p><b>○効果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平滑性、非付着性の向上</li> <li>清浄性、洗浄性の向上</li> <li>耐食性の向上</li> </ul> <p>※液晶パネル等のFPD製造装置や医薬品製造装置など、高グレードな表面を求められる設備への表面処理方法に採用</p> <p><b>○原理</b></p> 	<p>ステンレス鋼はその表面に不動態皮膜とよばれる酸素とクロムの酸化皮膜が存在します。不動態化処理によりその酸化皮膜を化学的により緻密にし、外観、寸法を変化させることなく耐食性を向上させることができます。製造設備および配管の表面処理に採用されています。</p> <p><b>再生洗浄</b></p>  <p>稼働中の装置は、長年の使用により表面の清浄性が低下しています。電気・化学・機械的方法の組合せて機器洗浄を行います。現地での作業に対応しています。</p>

セールスポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>表面処理の採用により設備の稼働効率が向上し歩留り率が向上する。</li> <li>非付着性が向上し、設備の高寿命化やメンテナンス費が抑制される。</li> </ul>	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>表面処理後の評価方法を確立させる。</li> </ul>
----------	--	----	---

新旧比較 (自社比)	耐食性	平滑性	清浄性
			

新素材、環境、品質への波及効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステンレス鋼の代替素材への表面処理技術を開発中。</li> <li>環境に配慮した薬品を使用した処理技術を開発中。</li> </ul>		
問合せ先	部署：東北工場 TEL：0178-22-7388	E-mail：info@e-marui.jp	担当者：技術営業部 山本雅広 URL：http://www.e-marui.jp